

地方協会の設立を終えて

株式会社オージーシステム 防災・セキュリティ事業部
総合防犯設備士 第09-0291号

佐藤 亨



防犯用としての放火監視センサ「ピコアイ」の製造・販売を行っております株式会社 オージーシステムの佐藤 亨と申します。

弊社は事業部門として「消防」・「防犯」の2本の柱を掲げております。消防では、消防法に基づく消防設備の維持管理を中心とした業務を行っております。また、防犯では放火監視センサの販売・各種センサを組合わせたローカルセキュリティシステム・防犯カメラ・出入管理装置等、ユーザーニーズに合わせた機器の設計・施行・提案を行っております。

このたび地方協会で第34番目となる一般社団法人群馬県防犯設備協会の設立に関わりました事、また同じ頃に総合防犯設備士の仲間入りをさせていただきました事につきまして、折角の機会をいただきましたので、ここに設立のご報告も兼ねてPRをさせていただきます。

協会設立にむけて

群馬県防犯設備協会（略称：SSAG）は、2009年の夏より設立に向け準備室を立ち上げました。当初は兼ねてよりお取引のありましたサクサプレシジョン株式会社様を通して、一般社団法人埼玉県防犯設備士協会の浅香会長とお話をする中で、諸々地方協会の必要性等をご教授いただきました。また、たまたま群馬県には協会が無かったことも影響し群馬県の防犯設備の普及・促進を促し「安全・安心なまちづくり」に貢献することを目的として、設立にむけての活動を開始致しました。

まずは、4社の発起人・群馬総合ガードシステム株式会社、株式会社サン設計事務所、株式会社アイブレイン、と弊社の計4社で設立準備室を立上げ、弊社の代表者が中心的な役割を果たし、設立時には代表理事となることで話し合いを持ち、この4社でまずは法人設立登記までを行う事となりました。

設立準備中は関係所管となる群馬県・県民防犯推進室、群馬県警察本部・生活安全企画課、また群馬県防犯協会などを訪問し、設立にむけてのご理解とご協力をいただけるよう発起人全員でお願いとご説明にありました。

また、設立までの実際の諸手続きについては、別件で過去に共同組合を設立した際に、諸々の手続きを行っていただきました、群馬県中小企業団体中央会の担当者の方に、今回の地方協会設立についても設立に向けてのご協力をお願いしたところ、快諾していただきました。そして前回同様、法人設立までの定款や諸届出書類の作成などのご協力を頂きました。協会設立にあたっては、始めから一般社団法人としての設立を目指しました。中央会担当者様のご協力なくしては約半年間という短期間で設立まで完了する事は不可能であったと思います。（ちなみに中央会で設立支援した一般社団法人設立についての県内第1号になったようです。）

群馬県の状況

さて、ここで今回協会設立に至った群馬県の地域状況について簡単にご説明いたします。群馬県は北関東に位置し、県の中心は県庁所在地の前橋市です。埼玉県・栃木県・福島県・新潟県・長野県に隣接し、海は隣接していません。30年も前の小学校の頃の「上毛かるた」では、「力合わせる180万人」との語りでしたが、今では人口も約200万人に達し、人口順位では全国で19番目となっています。

県の中心に位置する赤城山の麓に広がる前橋市は、人口34万人を超え全国41中核都市の仲間入りをしてい

ます。また同じく30万人を超えている高崎市も中核都市移行の手続きをおこなっています。高崎市は商業都市として栄えており、上越新幹線・長野新幹線の停車駅となっております。新幹線では東京まで約1時間で通勤・通学できることから、首都圏の通勤圏としても利便性が良く、近年では駅周辺にマンションが立ち並んでおります。数年前には大手家電量販店の本社ビルも高崎駅前に移転してきました。

このような地域性の中での犯罪状況ですが、平成21年の県内刑法犯認知件数は、前年比9.8%減の24,110件で、過去10年間で最低となっております。しかし、逆に凶悪犯罪が増加しております。(群馬県生活文化部県民生活課県民防犯推進室ホームページ内記事参照)

群馬県では、毎月16日を「県民防犯の日」と指定し、コンビニエンスストアや各種広告媒体・ホームページ等で防犯告知を行っております。刑法犯の認知件数の減少は、群馬県と群馬県警察本部が中心に、市町村や自治体・町内会・防犯協会などと連携し、さまざまな防犯対策の講演・実演等を実施しており、その効果が実を結び、県民の防犯に対する意識が高まっているものと思います。

協会のこれからの方策について

2010年1月12日には晴れて法人設立登記が完了し、具体的に活動が進んでおります。

今後の活動については、まずは協会員を拡充すべく、県内の防犯設備士取得者への協会入会の勧誘告知、防犯設備関係企業への入会アプローチの実施を積極的に行ってまいります。情報発信や問合せの窓口となるよう、3月中に協会のホームページを開設し、広くPRしていこうと現在準備中です。

また、設立後に代表理事が群馬県警察本部・生活安全企画課にご挨拶にお伺いした際、ご提案いただきました県内20ヵ所の各警察署・生活安全課への群馬県防犯設備協会設立のご挨拶及び協会へのご協力の要請を、2月～3月末までに全て実施致します。また、県内の防犯設備士・防犯設備に関係する法人・団体を会員として拡充増強し、一定規模の会員数が確保出来たところで、5月の連休明けには関係者一同が集まり、一般社団法人群馬県防犯設備協会を広くお披露目する為の設立総会を実施する予定で進めております。

防犯設備士として

群馬県はまだ防犯設備士が149名と他の県に比べて少なく、総合防犯設備士は1名もおりませんでした。

今回、私が県内初の総合防犯設備士として認定をいただきました。講習時に勉強した事柄、また面接時に質問を受けた内容などについて、より一層の理解を深め、武富委員長様からご指導いただいた「実践で生かしていける知識と技術」の習得を心掛け、努力して参りたいと思います。

総合防犯設備士として県内の防犯設備士の皆様と協力しながら、防犯設備面で群馬県内の犯罪の抑止に貢献出来る様、奮闘・努力していく所存です。

最後になりましたがこの場をお借りしまして、今回の協会設立にご尽力をいただきました、社団法人日本防犯設備協会関係者の皆様、一般社団法人埼玉県防犯設備士協会浅香会長様、群馬県中央企業団体中央会関係者の方々、発起人としてご尽力いただきました群馬総合ガードシステム(株)の川崎社長様・今井常務様、(株)サン設計事務所の栗原社長様、(株)ビジネスブレインの鶴川社長様、群馬県・生活文化部県民生活課県民防犯推進室関係者の方々、群馬県警察本部・生活安全部生活安全企画課関係者の方々、群馬県防犯協会関係者の方々、等々にはご多忙中にも関わらずご協力を頂きました事を、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

